

## 学内外活動の記録

### 【論文】

#### [芸術学部美術工芸学科]

草野 圭弘

- (1) One-pot hydrothermal synthesis of uniformly cubic  $\text{Co}_3\text{O}_4$  nanocrystals Y. Teng, S. Yamamoto, Y. Kusano, M. Azuma, Y. Shimakawa, *Mater. Lett.*, 64 (2010) 239-242.
- (2) Science in the Art of the Master Bizen Potter, Y. Kusano, M. Fukuhara, J. Takada, A. Doi, Y. Ikeda, M. Takano, *Accounts of Chemical Research*, 43 (2010) 906-915.
- (3) Transformation of Nano-to Mesosized Iron Oxide Cores to  $\alpha\text{-Fe}$  within Organic Shells Preserved Intact, S. Yamamoto, G. Ruwan, Y. Tamada, K. Kohara, Y. Kusano, T. Sasano, K. Ohno, Y. Tsujii, H. Kageyama, T. Ono, M. Takano, *Chem. Mater.*, 23 (2011) 1564-1569.

#### [産業科学技術学部観光学科]

藤高 邦宏

- (1) 藤高邦宏, “英米人の迷信・俗信考 (17) IV 年中行事 —その6 初穂祭・収穫感謝祭・万聖節の前夜祭・火薬陰謀事件記念日・アメリカの感謝祭”, *英語学論説資料*, 43 (2011), 2, 535-540. <倉敷芸術科学大学紀要第14号より転載>

#### [生命科学部生命科学科]

須見 洋行

- (1) 須見洋行, ナットウキナーゼの合成アミドに対する基質特異性, 並びにキニン産生能 (血圧降下, 循環改善) など, *和光純薬時報*, 78 (4), p.7-9, 2010.
- (2) 須見洋行, 岡本猛, 石井陽一, ルンプロキナーゼ (ミミズ酵素) の力価検定法, *薬理と臨床*, 20 (6), 347-352, 2010.
- (3) Y. Yanagisawa, T. Chatake, K. Chiba-Kamoshida, S. Naito, T. Ohsugi, H. Sumi, I. Yasuda and Y. Morimoto, Purification, crystallization and preliminary X-ray diffraction experiment of nattokinase from *Bacillus subtilis natto*, *Acta. Cryst.*, F66 (12), 1670-1673, 2010.
- (4) 須見洋行, 内藤佐和, 矢田貝智恵子, 吉田悦男, 大杉忠則, 柳澤泰任, 丸山眞杉, 笹沼隆史, 納豆酵素の強力な血栓溶解能: ナットウキナーゼが有する基質特性について, *New Food Industry*, 53 (1), 33-38, 2011.

- (5) 須見洋行, 大杉忠則, 内藤佐和, 矢田貝智恵子, 納豆菌が持つ特殊酵素「ナットウキナーゼ」: その力価と特長, 日本醸造協会誌, 106 (1), 28-32, 2011.
- (6) S. Naito, C. Yatagai, M. Maruyama and H. Sumi, Effect of coffee extracts on plasma fibrinolysis and platelet aggregation, *J. Med. Soc. Alcohol & Drug Studies*, 46 (2), 260-269, 2011.
- (7) 須見洋行, 内藤佐和, 矢田貝智恵子, 丸山真杉, 本格焼酎の初留分画にみられた抗血小板凝集活性, 日本アルコール・薬物医学会雑誌, 46 (2), 297-301, 2011.
- (8) 須見洋行, 発酵食品テンペ(インドネシア納豆)が持つ新しい機能性, 温古知新, 87, 2011.

#### 仲 章伸

- (1) Naka, A., Ueda, S., Sakaguchi, S., Miura, T., Kobayashi, H., Ishikawa, M., "Synthesis and thermal behavior of cis- and trans-1-tert-butyl-4,5-dimethyl-2-phenyl-2-(trimethylsiloxy)-1-(trimethylsilyl)-1-silacyclohex-4-ene", *J. Organomet. Chem.*, 695, 2499-2505 (2010).
- (2) Tanaka, H., Kondo, Y., Shiota, Y., Naka, A., Ishikawa, M., Yoshizawa, K., "Theoretical Study on the Formation of Silacyclopropene from Acylsilane and Acetylene via Silene-Silylene Rearrangement", *Organometallics*, 30(11), 3160-3167 (2011).
- (3) Naka, A., Kawasaki, H., Fujimoto, H., Yoshizawa, K., Ishikawa, M., "Silicon-carbon unsaturated compounds. 77. Thermal behavior of cis- and trans-1-silacyclobut-3-ene formed from pivaloyl[tert-butylbis(trimethylsilyl)]silane and tert-butylacetylene", *J. Organomet. Chem.*, 696, 3693-3696 (2011).

#### [生命科学部生命医科学科]

##### 大野 英治

- (1) Maruta, J., Hashimoto, H., Suehisa, Y., Yamashita, H., Noguchi, S., Aratake, Y., Ohno, E., Kobayashi, TK., : Improving the diagnostic accuracy of thyroid follicular neoplasms: Cytological features in fine-needle aspiration cytology. *Diagnostic Cytopathology*, ; 39 (1): 28-34. 2011 Jan (on line: 20 Jan 2010).
- (2) Hata S, Kanomata N, Kozuka Y, Fukuya M, Kobayashi TK, Ohno E, and Moriya T., : Cytologic appearance of mysospherulosis of the breast diagnosed by fine-needle aspirates: a clinical, cytological and immunocytochemical study of 23 cases. *Diagn Cytopathol.*, 39 (3): 177-80. 2011 Mar.

## [生命科学部健康医療学科]

内藤 整

- (1) Prathumyot, W., M. Okada, H. Naito and H. Ehara (2011.03). Physiological Response and Mineral Concentration of Sago Palm under Diurnal Changes of NaCl Concentration in Culture Solution. Trop. Agr. Develop. 55 (1): 11-20.

## 【著 書】

## [芸術学部メディア映像学科]

神原 正明

- (1) 神原正明・監修『西洋名画の読み方3－聖書と神話の名画188点－』, パトリック・デ・リンク著・内藤憲吾訳 創元社 2010年10月20日刊 全360頁.

## [産業科学技術学部経営情報学科]

塩飽 直紀

- (1) 「岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度に対する評価・提言」, 財団法人水島地域環境再生財団(みずしま財団), 2011年3月 pp.36～41.

村山 公保

- (1) 村山公保, 「通信系組込みシステムのネットワーク応用(SIP)」, 福岡県産業・科学技術振興財団, 2010, 全62頁.

## [生命科学部生命科学科]

佐藤 恒夫

- (1) Sato, T., cerium(III) trifluoromethanesulfonate in *electronic encyclopedia of reagents for organic synthesis*. (online: 15 Oct 2010)

## 【論説・解説】

## [芸術学部メディア映像学科]

神原 正明

- (1) 神原正明・新聞書評「乱世を生き抜いた強さ」『名画で読む聖書の女たち』秦剛平著, 神奈川新聞・福井新聞・佐賀新聞・山陽新聞・神戸新聞ほか共同通信 2010年10月17日.

## 【学会発表・学術研究集会】

### [芸術学部美術工芸学科]

#### 草野 圭弘

- (1) ビックスバイト型  $\beta\text{-Fe}_2\text{O}_3$  の生成機構について (5) -  $\beta\text{-Fe}_2\text{O}_3$  と  $\alpha\text{-Fe}_2\text{O}_3$  の結晶学的方位関係 -, 團野瑛章, 浅岡裕史, 中西真, 藤井達生, 高田潤, 池田靖訓, 草野圭弘, 粉体粉末冶金協会平成 22 年度秋季大会, 平成 22 年 11 月 9 日, 京大百周年時計台記念館.
- (2) 緋色模様の微構造と形成条件, 草野圭弘, 小島悠揮, 福原実, 團野瑛章, 高田潤, 高野幹夫, 粉末冶金協会平成 22 年度秋季大会, 平成 22 年 11 月 9 日, 京大百周年時計台記念館.
- (3) 弥生時代後期熊本下扇原遺跡出土ベンガラのカラクリゼーション, 辻広美, 村上隆, 宮崎敬士, 橋本英樹, 團野瑛章, 草野圭弘, 菊地孝弘, 藤井達生, 高田潤, 粉末冶金協会平成 22 年度秋季大会, 平成 22 年 11 月 9 日, 京大百周年時計台記念館.
- (4) パラジウムのナノ粒子を化学析出させた酸化マンガン触媒を用いたメタンガスの水素ガスへの直接変換, 古屋伸秀樹, 辻本将彦, 草野圭弘, 竹内謙, 粉末冶金協会平成 23 年度春季大会, 平成 23 年 6 月 1 日, 早大国際会議場.

### [生命科学部生命科学科]

#### 佐藤 恒夫

- (1) 大西駿・佐藤恒夫, “フッ化セシウムで促進されるホーナー-ワズワース-エモンズ反応”, 2010 年 日本化学会西日本大会 (熊本大学), 2010 年, 1P - 90.
- (2) 大野安祐・佐藤恒夫, “セリウム(III)トリフラートで触媒されるアルデヒドとケトンの環状アセタール化”, 2010 年 日本化学会西日本大会 (熊本大学), 2010 年, 1P - 91.
- (3) 佐藤恒夫, “アルデヒドやケトンの新しいウィッテッヒメチレン化法の開発”, OUS フォーラム 2010 - 基礎から応用・未来技術への出会いと対話 - (岡山プラザホテル), 2010 年, アブストラクト集 p29.

#### 須見 洋行

- (1) 池田志織, 須見洋行, 内藤佐和, 池田裕哉, 大杉忠則, 食用プロテアーゼのもつセルロース分解作用, 第 16 会岡山リサーチパーク研究・展示発表会 (岡山), 2011.

### [生命科学部生命医科学科]

#### 大野 英治

- (1) 富安聡, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治, 子宮内膜癌における癌幹細胞の特性解析とマーカー分子の探索.

第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p5.

- (2) 西森誠, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治: iPS細胞由来細胞の腫瘍化に関する研究. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p6.
- (3) 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 坂口卓也, 大野英治: 子宮内膜細胞診における endometrial glandular and stromal breakdown (EGBD) と子宮内膜癌の鑑別診断での Notch-1 免疫染色の有効性. 第31回日本臨床細胞学会岡山県支部会. 2011.7.16. 岡山. 川崎医科大学.

(学術研究集会の主催)

- (1) 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山.

#### 坂口 卓也

- (1) 富安聡, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治. 子宮内膜癌における癌幹細胞の特性解析とマーカー分子の探索. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p5.
- (2) 西森誠, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治: iPS細胞由来細胞の腫瘍化に関する研究. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p6.
- (3) 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 坂口卓也, 大野英治: 子宮内膜細胞診における endometrial glandular and stromal breakdown (EGBD) と子宮内膜癌の鑑別診断での Notch-1 免疫染色の有効性. 第31回日本臨床細胞学会岡山県支部会. 2011.7.16. 岡山. 川崎医科大学.

#### 三宅 康之

- (1) 富安聡, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治. 子宮内膜癌における癌幹細胞の特性解析とマーカー分子の探索. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p5.
- (2) 西森誠, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治: iPS細胞由来細胞の腫瘍化に関する研究. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p6.
- (3) 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 坂口卓也, 大野英治: 子宮内膜細胞診における endometrial glandular and stromal breakdown (EGBD) と子宮内膜癌の鑑別診断での Notch-1 免疫染色の有効性. 第31回日本臨床細胞学会岡山県支部会. 2011.7.16. 岡山. 川崎医科大学.

### 大野 節代

- (1) 富安聡, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治. 子宮内膜癌における癌幹細胞の特性解析とマーカー分子の探索. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p5.
- (2) 西森誠, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治: iPS細胞由来細胞の腫瘍化に関する研究. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p6.
- (3) 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 坂口卓也, 大野英治: 子宮内膜細胞診における endometrial glandular and stromal breakdown (EGBD) と子宮内膜癌の鑑別診断での Notch-1 免疫染色の有効性. 第31回日本臨床細胞学会岡山県支部会. 2011.7.16. 岡山. 川崎医科大学.

### 宮本 朋幸

- (1) 富安聡, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治. 子宮内膜癌における癌幹細胞の特性解析とマーカー分子の探索. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p.5.
- (2) 西森誠, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治: iPS細胞由来細胞の腫瘍化に関する研究. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p.6.
- (3) 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 坂口卓也, 大野英治: 子宮内膜細胞診における endometrial glandular and stromal breakdown (EGBD) と子宮内膜癌の鑑別診断での Notch-1 免疫染色の有効性. 第31回日本臨床細胞学会岡山県支部会. 2011.7.16. 岡山. 川崎医科大学.

### 薬師寺宏匡

- (1) 富安聡, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治. 子宮内膜癌における癌幹細胞の特性解析とマーカー分子の探索. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p5.
- (2) 西森誠, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治: iPS細胞由来細胞の腫瘍化に関する研究. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p6.
- (3) 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 坂口卓也, 大野英治: 子宮内膜細胞診における endometrial glandular and stromal breakdown (EGBD) と子宮内膜癌の鑑別診断での Notch-1 免疫染色の有効性. 第31回日本臨床細胞学会岡山県支部会.

2011.7.16. 岡山. 川崎医科大学.

### 森 康浩

- (1) 富安聡, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治. 子宮内膜癌における癌幹細胞の特性解析とマーカー分子の探索. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p5.
- (2) 西森誠, 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 浜田長晴, 坂口卓也, 荒武八起, 大野英治: iPS細胞由来細胞の腫瘍化に関する研究. 第1回日本分子細胞病理学研究会. 2011.3.19. 岡山. 第1回日本分子細胞病理学研究会プログラム p6.
- (3) 森康浩, 宮本朋幸, 薬師寺宏匡, 大野節代, 三宅康之, 坂口卓也, 大野英治: 子宮内膜細胞診における endometrial glandular and stromal breakdown (EGBD) と子宮内膜癌の鑑別診断での Notch-1 免疫染色の有効性. 第31回日本臨床細胞学会岡山県支部会. 2011.7.16. 岡山. 川崎医科大学.

## [生命科学部健康医療学科]

### 内藤 整

- (1) 板倉功達・内藤整・近江正陽・西村美彦・板谷明美・内山智裕・久松眞・江原宏・三島隆 (2011.06). サゴヤシデンブ抽出残さの酸素液化・糖化に関する研究. サゴヤシ学会第20回講演会要旨集: 6-7.
- (2) 内藤整・河邊誠一郎・西村美彦・内山智裕・三島隆・江原宏 (2011.06). サゴ樹皮からの炭化材生産. サゴヤシ学会第20回講演会要旨集: 36-37.

## [インターナショナルセンター]

### 平木 孝典

- (1) 「江戸文学作品に見られる終助詞「とも」の用法」, 韓国日本語文化学会 2010年度秋季国際学術大会及び招請講演会, 平成22年11月13日, 韓国 明知大学ソウルキャンパス.
- (2) 「終助詞「とも」の通時的考察－江戸時代後期から現代まで－」, 韓国日語日文学会 2010年度冬季国際学術大会, 平成22年12月18日, 韓国 建国大学ソウルキャンパス.

## 【Proceedings】

## 【芸術学部美術工芸学科】

草野 圭弘

- (1) Frustrated  $S=3/2$  honeycomb antiferromagnet  $\text{Bi}_3\text{Mn}_4\text{O}_{12}(\text{NO}_3)$ , M. Azuma, M. Matsuda, N. Onishi, S. Olga, Y. Kusano, M. Tokunaga, Y. Shimakawa, N. Kumada, International Conference on Frustration in Condensed Matter (ICFCM), Jan. 14, 2011, Sendai, Japan.

## 【国際会議】

## 【芸術学部美術工芸学科】

草野 圭弘

- (1) Innovative functional material, "biogenous iron oxide" (IV): Potential of electrochemical property of microtubes produced by *Leptothrix ochracea* as a novel battery material, H. Hashimoto, H. Asaoka, Y. Watanabe, T. Nishimori, R. Miyake, M. Furutani, Y. Kusano, N. Kimura, T. Kasai, T. Suzuki, H. Kunoh, Y. Ikeda, M. Seno, M. Nakanishi, T. Fujii, J. Takada, 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2010), December 18, 2010, Honolulu/Hawaii.
- (2) Reevaluation of ancient red iron oxides excavated from archaeological sites, R. Murakami, H. Tsuji, T. Miyazaki, T. Danno, H. Hashimoto, Y. Kusano, J. Takada, 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2010), December 18, 2010, Honolulu/Hawaii.
- (3) Topotactic phase transformation of  $\beta\text{-Fe}_2\text{O}_3$  into  $\alpha\text{-Fe}_2\text{O}_3$ , T. Danno, H. Asaoka, M. Nakanishi, T. Fujii, Y. Ikeda, Y. Kusano, J. Takada, 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2010), December 18, 2010, Honolulu/Hawaii.
- (4) Science in the art of a traditional Japanese stoneware, Y. Kusano, Y. Kojima, M. Fukuhara, J. Takada, Y. Ikeda, M. Takano, 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2010), December 18, 2010, Honolulu/Hawaii.
- (5) Frustrated  $S=3/2$  honeycomb antiferromagnet  $\text{Bi}_3\text{Mn}_4\text{O}_{12}(\text{NO}_3)$ , M. Azuma, M. Matsuda, N. Onishi, S. Olga, Y. Kusano, M. Tokunaga, Y. Shimakawa, N. Kumada, International Conference on Frustration in Condensed Matter (ICFCM), Jan. 14, 2011, Sendai, Japan.



[生命科学部生命科学科]

須見 洋行

- (1) H. Sumi, S. Naito, C. Yatagai, T. Ohsugi, S. Ikeda, J. Saito, L. Zhang, M. Imai and M. Maruyama, Nattokinase derived from *Bacillus subtilis natto* promoted t-PA release from human cells, XIIIth International Workshop on Molecular & Cellular Biology of Plasminogen Activation, Cambridge, UK, 2011.
- (2) H. Sumi, S. Naito, C. Yatagai, E. Yoshida, T. Ohsugi, Y. Yanagisawa, J. Saito and M. Maruyama, Specificity and immunochemical properties of nattokinase, XXIII Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis, Kyoto, Japan, 2011.
- (3) H. Sumi, S. Naito, J. Saito and M. Maruyama, Elastase activity and elastatinal inhibition of nattokinase, XXIII Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis, Kyoto, Japan, 2011.
- (4) H. Sumi, S. Naito, C. Yatagai, T. Ohsugi, E. Yoshida, J. Saito, L. Zhang, M. Imai and M. Maruyama, A thrombolytic enzyme nattokinase in natto, a traditional fermented soybean food in Japan, XI Asian Congress of Nutrition, Singapore, 2011.

[生命科学部健康医療学科]

内藤 整

- (1) Ehara H., W. Prathumyot, H. Naito (2011.09). Salt Resistance Mechanism of *Metroxylon sagu*, Starch-producing Palm. 7<sup>th</sup> Asian Crop Science Conference. Bogor, Indonesia.